

広島大学総合科学部紀要Ⅳ理系編,第18巻,35-42ページ,1992年12月

## 球形オルガネラのサイズ分布を電子顕微鏡写真から 推定するためのコンピュータープログラム

洲 崎 敏 伸\*·安 藤 元 紀\*\*

\*広島大学総合科学部人間行動研究講座 \*\*高知医科大学第2生理学講座 (1992年9月1日受理)

# A computer program for estimating size distribution of spherical organelles from electron micrographs

Toshinobu Suzaki\* and Motonori Ando\*\*

**Abstract**: Size distributions of intracellular organelles in an ultra-thin section are usually distorted when the section thickness is not negligible. A computer program is developed here to estimate true size distributions of spherical organelles from transmission electron micrographs of ultra-thin sections. The method is applied to determine size distributions of chromaffin granules isolated from bovine adrenal medullary cells as a basis for further physiological measurements.

Key words: stereology, electron microscopy, chromaffin granule

#### はじめに

細胞の内部にある様々な構造や小器官の形状を研究しようとする場合、電子顕微鏡を用いて細胞の超薄切片を観察する方法が最も一般的である。ところが、この電子顕微鏡で観察される構造のプロファイルは、もともとの細胞構造のごく薄いスライスにすぎないので、その構造の全体像を知るためには、連続切片を重ね合わせて3次元構造を再構築する必要がある。しかし、観察する構造が球形である場合には、1枚の切片像を測定し、簡単な計算を行うことにより、その構造の真の直径の分布を推定することが可能である。

著者らは、細胞内オルガネラの有する電気生理学的インピーダンス特性を誘電解析法 (Irimajiri et al., 1991) により測定しているが、これにはデータ解析にさきだち、対象となるオルガネラの大きさを正確に測定しておくことが必要である。最近、副腎髄質クロマフィン顆粒のインピーダンス特性の解析を行ったが、この際に、電子顕微鏡用切片上で測定された直径の分布ヒストグラムから顆粒の真の直径分布を推定するためのコンピュータプログラムを開発した。ここでは、この方法に用いられたステレオロジー理論を概説し、プログラムの全リストを提示する。

## ステレオロジー理論

一定の厚さの切片上で観察された球形粒子の直径分布より、真の直径分布を推定するためのステレオロジーの理論は、既に報告されている(Goldsmith, 1967;諏訪、1977)。ここでは開発したプログラムに即し、計算の概略を示す。

#### 【記号について】

 $gi(i=1,2,\cdots n)$ : クラス(i)に属する球の切片上での実測直径の相対頻度

 $fi(i=1,2,\cdots n)$ : クラス(i)に属する球の真の直径の相対頻度

t:切片の厚さ

n:クラスの数

h: クラスの間隔

m: 球の真の平均直径

giとfiとの関係は、次のようになることが知られている(Goldsmith, 1967)。

$$g_i = \frac{h}{t+m} \sum_{i=1}^{n} \alpha_{ij} f_j$$

ここで、

$$h_i = \frac{h}{t+m} f_i$$
 1)

と定義すると、

$$g_i = \sum_{j=i}^n \alpha_{ij} h_j$$

あるいは、

$$[G] = [H][\alpha_{ii}]$$
 2)

ここで、

$$[G] = [g_1, g_2, ..., g_n]$$

$$[H] = [h_1, h_2, ..., h_n]$$

$$\alpha_{ii} = \frac{t}{h} + \sqrt{i - \frac{3}{4}}$$
 (i=1,2,...,n) 3)

$$\alpha_{ij} = \sqrt{(j-\frac{1}{2})^2-(i-1)^2} - \sqrt{(j-\frac{1}{2})^2-i^2}$$
 (  $j=i+1,i+2,...,n$ ) 4)

2) 式を書き換えると、

$$[H] = [G][\beta_{ii}]$$
 5)

ここで、 $[\beta_{ij}]$  は $[\alpha_{ij}]$  の逆行列である。5) 式の関係を用いれば測定された直径分布[G] より、[H] が求められる。1) 式からわかるように[H] に定数をかけたものが、球の真の直径分布[F] になるので、 $\Sigma f = 1$ となるように定数を求めると、[F] が算出される。

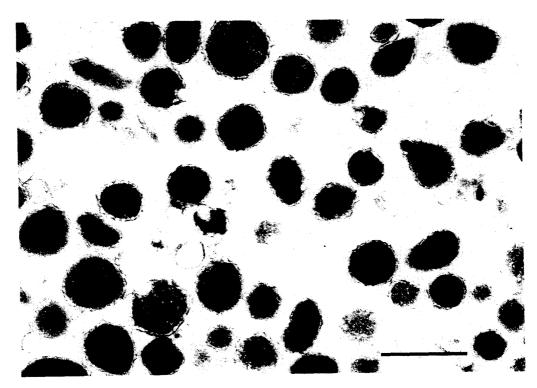


図1 単離されたウシ副腎髄質クロマフィン顆粒の透過型電子顕微鏡写真。顆粒の大部分はエピネフィリンを含むといわれている。imes 38,800. Bar= $0.5~\mu$  m.

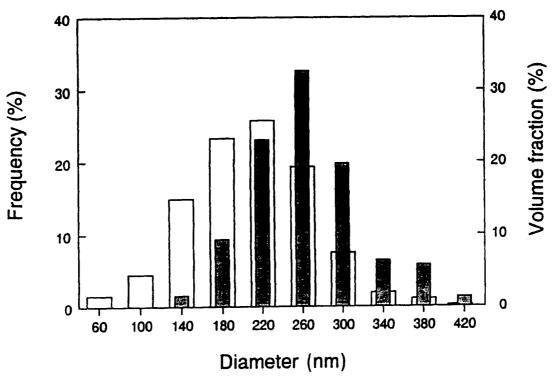


図2 クロマフィン顆粒の直径分布。電子顕微鏡切片の写真から1200個の顆粒を測定して得られた見かけの直径の相対頻度分布(白抜き)と、ステレオロジーにより補正され、 体積の出現頻度として正規化された真の直径の度数分布(灰色塗り)。

#### 計算手順と結果の表示

このプログラムで最も時間がかかるのは、2) 式に用いられるn 次行列[ $\alpha$ ij] と、その逆行列[ $\beta$ ij]を計算する部分である。3)、4) 式からわかるように、[ $\alpha$ ij]を計算するために必要な数値は、行列の次数n と、切片の厚さとクラスの間隔の比 t/n である。したがって、[ $\alpha$ ij] と[ $\beta$ ij] は一度作成しておけば、切片の厚さかクラス間隔が変わらない限り、同じものが共通して使用できる。行列の次数n は、実際の測定に用いたクラス数を上回るものであればどんな数値でもよく、計算では行列の必要な次数の部分のみが使われる。このような理由から、プログラムは、次の3 つの部分に分割して作成された(付表プログラムリスト参照)。

プログラム 1) メインプログラム(プログラム名 STEREO1. BAS)

5) 式を用いて、真の直径分布を算出し、結果を出力する。

プログラム 2) 行列・逆行列の計算(プログラム名 STEREO2. BAS)

[αij]と、その逆行列[βij]を計算する。

プログラム 3) データファイル作成(プログラム名 STEREO3. BAS) 実測データをファイル化し、計算に使用できるようにする。

プログラム1)の出力として、以下の計算結果が表形式で表示される。

[G] …切片上の直径の実測分布(正規化された個数の分布)

[GV]…切片上の直径の実測分布(正規化された体積の分布)

[F] …実際の直径分布の推定値(正規化された個数の分布)

[FV] …実際の直径分布の推定値(正規化された体積の分布)

## 実際の計算例

副腎髄質細胞は、エピネフィリンやノルエピネフィリンを含むクロマフィン顆粒と呼ばれる多くの分泌顆粒を含む。図1 に示すように、これらの顆粒はほぼ球形とみなせる形状を呈しており、単離・精製が可能であるので、オルガネラ膜及び内相の電気生理学的特徴を解析するのに適した材料である。このような電子顕微鏡切片像(切片の厚さは約100 mm)より顆粒の直径を計測した。その相対出現頻度をヒストグラムに示したのが、図2 (白抜きグラフ) であり、切片上での顆粒の見かけの平均直径は、 $0.21\,\mu$  m であった。このデータを上記の方法により計算機処理し、得られた真の直径分布を体積の出現頻度として正規化すると、そのヒストグラム(図2、灰色塗りグラフ)は、元々の見かけのヒストグラムとは著しく異なっており、その平均直径は $0.26\,\mu$  m であった。

## 参 考 文 献

Irimajiri, A., Suzaki, T., Asami, K. and Hanai, T. 1991. Dielectric modeling of biological cells. Models and algorithm. Bull. Inst. Chem. Res. Kyoto Univ., 69, 421-438.

Goldsmith, P. L., 1967. The calculation of true particle size distributions from the sizes observed in a thin section. Brit. J. Appl. Phys., 18, 813-830.

諏訪紀夫、1977.「定量形態学」岩波書店.

### 付表:プログラムリスト

```
PRINT "データファイル名?"
PRINT "新しいデータファイルを作成"
PRINT "する場合はリターンキーを押"
PRINT "して下さい。"
PRINT: INPUT " ":FD$
                                                                                                                                                     2030
                         切片の厚さを考慮した電巓的ステレオロジー
 1010
                                                                                                                                                      2040
1020 '
                                     (Part 1: 真の直径分布の計算)
                                                                                                                                                      2050
 1040 '
                                                                                                                                                      2051
 1050 '
                   SAVE "STEREO1.BAS"
                                                                                                                                                      2060
                                                                                                                                                                     IF FD$="" THEN RUN "STEREO3.BAS"
                                                                                                                                                      2070
 1070
                                                                                                                                                                     OPEN FD$+".DAT" FOR INPUT AS #1
                       初期化
                                                                                                                                                      2080
 1080
                                                                                                                                                                     INPUT #1, ND
INPUT #1, TD
 1090
                                                                                                                                                      2090
 1100 DEFDBL A-G,P-Z
                                                                            倍精度実数型変数の定義
                                                                                                                                                      2100
                                                                        | テキスト画面初期化 | グラフィック領域設定 | 16色モード設定
               CONSOLE 0,24,0,1
SCREEN 3,0,0,1
                                                                                                                                                                     INPUT #1, HD
                                                                                                                                                      2110
 1110
                                                                                                                                                     2120
                                                                                                                                                                     TN=0
 1120
                                                                                                                                                                    IN=0
FOR I=1 TO ND: INPUT #1, G(I)
IN=TN+G(I): NEXT I: CLOSE #1
FOR I=1 TO ND: G(I)=G(I)/TN
NEXT I: CLOSE #1
CLS: PRINT "<DATA FILE: ";FD$;".DAT>"
PRINT "NUMBER OF CLASSES (N): ";ND
PRINT "SECTION THICKNESS (T): ";
PRINT USING "##.##";TD;
PRINT " µm"
PRINT "CLASS INTERVAL (H): ";
PRINT USING "## ##";HD;
              VIEW (0,0)-(639,399)
COLOR 7,0,0,7,2
 1130
                                                                                                                                                      2130
                                                                                                                                                      2135
 1140
                                                                        - 支示色1の定義
・表示色2の定義
・表示色3の定義
・25行モード設定
                COLOR=(1,&HFFF)
                                                                                                                                                     2140
1160
                COLOR=(2,&HAC2)
COLOR=(3,&H800)
                                                                                                                                                     2145
2150
 1170
 1180
                WIDTH 80,25
                                                                                                                                                      2160
 1190
               DIM A(30,30),B(30,30) 「行列型変数の定義
DIM C(30,30),AMF$(50),AMN(50),AMTH(50)
DIM Y(30,30),G(30),F(30),GV(30),FV(30)
 1200
                                                                                                                                                      2170
 1210
                                                                                                                                                      2180
 1220
                                                                                                                                                      2185
 1230
                DIM NTC$(20)
                                                                                                                                                      2190
                BLK$=STRING$(61," ") 「ブランク行のデータ
CLS 3 「画面クリアー
                                                                                                                                                      2200
2205
2210
                                                                                                                                                                     PRINT USING "##.##";HD;
PRINT " µm"
PRINT "T/H:
 1240
 1250
1260
                       メインプログラム
                                                                                                                                                       2220
                                                                                                                                                                     PRINT USING "##.##";TD/HD
 1270
 1280
                                                                                                                                                      2230
1300 GOSUB *NOTICE
1310 GOSUB *D.LOAD
1320 GOSUB *MUL2
1330 GOSUB *D.PRINT
                                                                             プログラムの説明
                                                                                                                                                      2240
                                                                                                                                                                                a-マトリクス A とその逆行列 B のデータ
                                                                                                                                                                               の読み込み
                                                                         データ読み込み
                                                                                                                                                      2245
                                                                         ¦[G]×[B]→[F]
'データの出力
                                                                                                                                                       2250
                                                                                                                                                      2260
                                                                                                                                                                      OPEN "ALPHA.DSK" FOR INPUT AS #1
                                                                                                                                                                     INPUT #1, NA
 1340
                GOTO 1300
                                                                                                                                                      2270
                                                                                                                                                       2280
                                                                                                                                                                      FOR I=1 TO NA
 1390
                                                                                                                                                                      INPUT #1, NFA$(I),NFN(I),NFTH(I)
NEXT I: CLOSE #1
                        プログラムの解説表示
                                                                                                                                                       2290
 1400 '
                                                                                                                                                       2295
 1410
 1420 *NOTICE
                                                                                                                                                      2300
                                                                                                                                                                      PRINT
1440 CLS 3: WIDTH 80,20

1450 LINE (67, 7)-(573,308),2,BF

1460 LINE (70,10)-(570,305),3,BF

1470 LINE (67,47)-(573,49),2,BF

1480 LINE (67,316)-(330,383),2,BF

1490 LINE (70,319)-(327,380),3,BF
                                                                                                                                                      2310
2320
                                                                                                                                                                      NFAX$=""
                                                                                                                                                                     FOR I=1 TO NA: T1=TD/HD
N1=NFTH(I)+.01: N2=NFTH(I)+.01
IF N1>T1 AND N2<T1 THEN ELSE 2360
IF NFN(I)>N THEN ELSE GOTO 2360
                                                                                                                                                       2325
                                                                                                                                                       2330
                                                                                                                                                       2340
| LINE (0/,319) - (3327,380),3,BF | 1500 RESTORE 1760 | 1510 FOR I=1 TO 18: READ NIC$(I) | 1520 LOCATE 10,I: PRINT NIC$(I): NEXT I | 1530 K$=INKEY$: IF K$="" THEN GOTO 1530 | 1540 IF ASC(K$)=27 THEN SYSTEM | 1550 GOTO 1940 | 1760 DATA "電鋼的ステレオロジープログラム" | 1761 DATA " [STEREO1] NOV. 9, 1990 " 1780 DATA " このプログラムは、計測された球形粒" 1781 DATA "子の直径分布より、切片の厚みを考慮し" 1782 DATA "子の直径分布より、切片の厚みを考慮し" 1812 DATA "財際には、実測の度数分布のデータと" 1811 DATA "財際には、実測の度後を確率的に規定" 1812 DATA "する行列(α行列)が必要です。 α行列" 1813 DATA "は切片の厚さ(†) と 度数分布のランク" 1813 DATA "値切片の厚さ(†) と 度数分布のランク" 1813 DATA "値切片の厚さ(†) と 原数分布のランク" 1813 DATA "値切片の厚さ(†) と 原数分布のランク" 1813 DATA "値切片の厚さ(†) と 原数分布のランク" 1813 DATA "値切片の原さ(†) と 原数分布のランク" 1813 DATA "値切片の原さ(†) と 原数分布のランク" 1814 DATA "I 1815 DATA "I 1816 CITE (1) と 原数分布のランク" 1818 DATA "I 1818 DATA 
                                                                                                                                                      2350
                                                                                                                                                                      NFAX$=NFA$(I)
                                                                                                                                                       2360
                                                                                                                                                                      NEXT I
                                                                                                                                                                      IF NFAX$="" THEN ELSE 2430
PRINT: PRINT "該当するα-行列のデータ";
PRINT "がありません"
                                                                                                                                                       2370
                                                                                                                                                       2380
                                                                                                                                                      2385
                                                                                                                                                                      PRINT "[STEREO2.BAS]を起動します。"
FOR I=1 TO 5000: NEXT I
                                                                                                                                                       2390
                                                                                                                                                       2400
                                                                                                                                                                      RUN "STEREO2.BAS"
                                                                                                                                                       2410
                                                                                                                                                                      PRINT
                                                                                                                                                      2430
2435
                                                                                                                                                                       PRINT "該当するα-行列がありました。"
                                                                                                                                                                       OPEN NFAX$+".ALP" FOR INPUT AS #1
                                                                                                                                                       2440
                                                                                                                                                                      OPEN NFAX$+".ALP" FOR INPUT AS #I
INPUT #1, N,TH
PRINT:PRINT "<ALPHA MATRIX ";NFAX$;
PRINT "> を使用します。"
PRINT "NUMBER OF CLASSES (N): ";N
PRINT "T/H:
PRINT USING "##.##";TH
FOR I=1 TO N: FOR J=1 TO N
INPUT #1 A(I): NEXT I: NEXT I
                                                                                                                                                      2445
2450
2455
                                                                                                                                                       2460
                                                                                                                                                       2470
                                                                                                                                                       2480
                                                                                                                                                       2490
                                                                                                                                                                      INPUT #1, A(I,J): NEXT J: NEXT I
FOR I=1 TO N: FOR J=1 TO N
Y(I,J)=A(I,J): NEXT J: NEXT I
FOR I=1 TO N: FOR J=1 TO N
                                                                                                                                                       2500
                                                                                                                                                       2510
                                                                                                                                                       2515
                                                                                                                                                       2520
  1864
                 DATA
                                                                                                                                                                       INPUT #1, B(I,J): NEXT J: NEXT I
CLOSE #1
                DATA "プログラムの説明→リターンキー
DATA "プログラムの終了→ESCキー
DATA "プログラムの実行→その他のキー
  1910
                                                                                                                                                       2530
  1920
                                                                                                                                                       2535
                                                                                                                                                       2540
                                                                                                                                                                       RETURN
  1930
                  WIDTH 80,25
                                                                                                                                                       2560
  1940
                                                                                                                                                       2570
               RETURN
                                                                                                                                                                               計算の結果 F の表示
  1950
                                                                                                                                                      2580 D.PRINT
  1970
                          実測データの1次行列 G への取り込み
  1980
                                                                                                                                                                     CLS: FOR I=1 TO N
F(I)=F(I)*(DM+TD)/HD: NEXT I
TF=0: FOR I=1 TO N
                                                                                                                                                       2600
  1990 '
  2000 *D.LOAD
                                                                                                                                                       2610
  2010 CLS 3
2020 FILES "*.DAT": PRINT
                                                                                                                                                       2620
                                                                                                                                                                      IF F(I)<0 THEN F(I)=0
                                                                                                                                                       2630
```

```
3410 IF M=2 THEN ELSE 3430
3420 VA=VA*(Y(1,1)*Y(2,2)-Y(1,2)*Y(2,1))
3425 GOTO 3460
3430 GOSUB *VALP
2640 IF=IF+F(I): NEXT I
2650 FOR I=1 IO N: F(I)=F(I)/IF: NEXT I
2660 IFV=0: IGV=0
         3430
3440
3450
          FOR |= 1 TO N: FV(I)=F(I)*(I*.05-.025)^3
2670
                                                                                                               VA=VA*VAP
M=M-1: GOTO 3410
2675
2680
                                                                                                     3460
                                                                                                               RETURN
2685
                                                                                                     3510 *VALP
2690
                                                                                                     3520
3530
3535
2700
2710
2715
                                                                                                               IF IK=M+1 THEN ELSE 3540
VAP=0: VA=0: RETURN 3460
                                                                                                               IF Y(1,IK)=0 THEN IK=IK+1: GOTO 3530
IF IK=1 THEN 3570
2720
2730
                                                                                                     3540
                                                                                                     3550
2740
2750
                                                                                                     3560
                                                                                                               FOR I=1 TO M: SWAP Y(I,1),Y(I,IK)
                                                                                                     3565
                                                                                                              NEXI |
FOR |=2 TO M: FOR J=2 TO M
Y(I,J)=Y(I,J)=Y(I,1)*Y(1,J)/Y(1,1)
NEXT J: NEXT |
VAP=Y(1,1)
IF INT(IK/2)*2=IK THEN VAP=-VAP
FOR |=1 TO M-1: FOR J=1 TO M-1
Y(I,J)=Y(I+1,J+1): NEXT J: NEXT |
RETURN
                                                                                                               NEXT I
2760
2770
2780
                                                                                                     3570
                                                                                                     3590
                                                                                                     3600
                                                                                                     3620
3630
3640
3645
3650
3670
2790
2800
2810
2820
           PRINT USING "###.##";FV(I),
PRINT "-";
2830
2840
                                                                                                                     逆行列の計算 (INV(A) → B)
2845
           PRINT USING "#.##";MIN+I*HD: NEXT I
                                                                                                     3680
          PRINT USING "#.##";MIN+I*HD: NEXT I PRINT " MEAN:";
PRINT USING "##.#####";TG,
PRINT USING "##.#####";TF,
PRINT USING "##.#####";TF,
PRINT USING "##.#####";TF,
PRINT USING "##.#####";TF,
PRINT INPUT " PRINT OUT <Y/N>";Q$
IF Q$="" OR Q$="Y" THEN ELSE 3070
LPRINT " | [G] [GV] ";
LPRINT "[F] [FV] RANGE"
FOR I=1 TO NX
LPRINT USING "#######";I;
LPRINT USING "#######";G(I),
LPRINT USING "##.#####";F(I),
                                                                                                     3690
2850
                                                                                                     3700 *INV
2860
                                                                                                     3710 FOR IA=1 TO N: FOR JA=1 TO N
3730 GOSUB *SMALL
3740 M=N-1: GOSUB *IYI
2870
2880
2890
                                                                                                               B(JA,IA)=VA*(-1)^(IA+JA)/VAA
NEXT JA: NEXT IA
                                                                                                     3750
2900
2910
                                                                                                     3760
2920
2930
                                                                                                     3780
                                                                                                               RETURN
                                                                                                     3800
2935
                                                                                                     3810 '
                                                                                                                      余因子行列の計算
2940
                                                                                                     3820
 2950
                                                                                                     3830 *SMALL
2960
                                                                                                     3840 FOR II=1 TO N
                                                                                                     3850 IF II=IA THEN 3920
3860 FOR JJ=1 TO N
2970
2980
           LPRINT USING "##.####";FV(I),
LPRINT USING "###.##";MIN+(I-1)*HD;
                                                                                                     3870 IF JJ=JA THEN 3910
3880 IF II<IA THEN IK=II ELSE IK=II-1
3890 IF JJ<JA THEN JK=JJ ELSE JK=JJ-1
2990
3000
3005
           LPRINT
                                                                                                               Y(IK,JK)=A(II,JJ)
          LPRINT USING "#.##";MIN+I*HD: NEXT I
LPRINT "MEAN: ";
LPRINT USING "##.####";TG,
                                                                                                     3900
 3010
 3020
                                                                                                     3910
                                                                                                     3920 NEXT II
3930 RETURN
 3030
           LPRINT USING "##.####";TG,
LPRINT USING "##.####";TGV,
LPRINT USING "##.#####";TF,
LPRINT USING "##.#####";TFV,
 3040
 3050
 3060
                                                                                                     1000
 3070
           RETURN
                                                                                                                      切片の厚さを考慮した電頭的ステレオロジー
(Part 2: a-行列とその逆行列の作成)
                                                                                                      1010 '
 3090
                                                                                                      1020
 3100
                  2次行列と2次行列の乗算 (A × B → C)
                                                                                                      1040 '
 3110
                                                                                                      1050 '
 3120 *MUL
                                                                                                                   SAVE "STEREO2.BAS"
          FOR I=1 TO N: FOR J=1 TO N
F(I)=0: NEXT J: NEXT I
FOR I=1 TO N: FOR J=1 TO N
FOR K=1 TO N
 3130
                                                                                                      1070
                                                                                                                      初期化
                                                                                                      1080
 3135
                                                                                                      1090
 3140
                                                                                                                                                      DEFDBL A-G,P-Z
CONSOLE 0,24,0,1
SCREEN 3,0,0,1
VIEW (0,0)-(639,399)
COLOR 7,0,0,7,2
COLOR=(1,&HFFF)
COLOR=(2,&HAC2)
COLOR=(3,&H800)
                                                                                                      1100
 3160
           C(I,J)=C(I,J)+A(I,K)*B(K,J)
NEXT K: NEXT J: NEXT I
 3170
                                                                                                      1110
 3180
                                                                                                      1120
 3210
3230
           RETURN
                                                                                                      1140
                                                                                                      1150
3240
3250
3260
3270
                                                                                                      1170
                  1 次行列と 2 次行列の乗算 (G × B → F)
                                                                                                      1180
                                                                                                      1190
          *MUL2
                                                                                                                DIM A(30,30),B(30,30) 「行列型変数の定義
DIM C(30,30),Y(30,30),G(30),F(30),GV(30)
DIM FV(30),AMF$(50),AMN(50),AMTH(50)
DIM NTC$(20)
           FOR I=1 TO N: FOR J=1 TO N: F(I)=0
NEXT J: NEXT I
                                                                                                      1200
                                                                                                      1210
 3275
           FOR I=1 TO N: FOR J=1 TO N
F(I)=F(I)+G(J)*B(J,I)
NEXT J: NEXT I
                                                                                                      1220
 3280
                                                                                                      1230
 3300
                                                                                                      1240
                                                                                                                 CLS 3
                                                                                                                                                       - 面面クリアー
 3310
                                                                                                      1250
 3330
           RETURN
                                                                                                                       メインプログラム
                                                                                                      1260
 3350
                                                                                                      1270
 3360
                  行列の値の計算
                                            (|Y| \rightarrow VA)
                                                                                                                                                       · プログラム説明文の表示
                                                                                                      1290
                                                                                                                 GOSUB *NOTICE
 3370
                                                                                                                                                      ・行列の条件設定
・α-行列データの作成
・α-行列の逆行列計算
                                                                                                                 GOSUB *INIT
                                                                                                      1300
 3380 *IYI
                                                                                                                 GOSUB *CALC.A
                                                                                                      1310
 3390 VA=1
                                                                                                                 GOSUB *CALC.B
 3400 IF M=1 THEN VA=Y(1,1): GOTO 3460
```

```
GOSUB *TERMINATE
                                        ' ディスク情報の更新
                                                                                      2090 1 L
1330
                                                                                     2100 *CALC.A
2110 CLS 3
2121 TX$=TIME$
1340
        RUN "STEREO1.BAS"
1390
              プログラムの解説表示
1400
1410
                                                                                      2122
                                                                                              TIME$="00:00:00"
                                                                                              FOR I=1 TO 34000I: NEXT I
TX=VAL(RIGHT$(TIME$,2))
1420 *NOTICE
                                                                                      2123
1430
                                                                                      2124
        CLS 3
1440
        WIDTH 80,20
                                                                                      2125
                                                                                              TIME$=TX$
        WIDTH 60,20
LINE (67, 7)-(573,308),2.8F
LINE (70,10)-(570,305),3.8F
LINE (67,47)-(573,49 ),2.8F
FOR I=1 TO 16: READ NTC$(I)
LOCATE 10,I: PRINT NTC$(I): NEXT I
DATA "a行列作成プログラム"
DATA "[STEREO2] NOV. 9, 1990"
DATA "
                                                                                             TX=2.2*N*N*N/600
LOCATE 25.17
PRINT "現在の時刻: ";TIME$
LOCATE 25.18: PRINT "計算所用時間: ";
1450
                                                                                      2126
1460
                                                                                      2127
                                                                                      2128
1470
1480
                                                                                      2129
                                                                                               PRINT USING "#####.#";TX;
1490
                                                                                      2130
                                                                                               PRINT "分"
1500
                                                                                      2131
1505
                                                                                      2132
                                                                                               FOR I=1 TO N : FOR J=1 TO N
                                                                                              IF I<J THEN A(I,J)=0: GOTO 2180
IF I=J THEN ELSE 2170
A(I,J)=SQR((I-.5)^2-(J-1)^2)+TH
        DATA "DATA "このプログラムは、分布を持った球の"」DATA "集合をある厚さ(t)に切片化した場合"」DATA "に観察される円形の直径分布(ランク幅"DATA "h)から、計算に用いられる行列を作成す"DATA "るです。" DATA "る要な値は、実測データの分布のランク" DATA "の最大数(n)と、t /h値です。nは" DATA "の最大数(n)と、t /h値です。nは" DATA "小くら大きくてもかまいませんが、a行" DATA "小で長くなりまないませんが、a行" DATA "人で長くなりまないませんが、a行" DATA "人で長くなりまないませんが、カースをいまなりませんが、カースをいるである。" DATA "インプログラムに復帰します。" DATA "インプログラムに復帰します。" DATA "インプログラムに復帰します。" DATA "インプログラムに復帰します。" DATA "
1510
                                                                                      2140
1520
                                                                                      2150
1525
                                                                                      2160
1530
                                                                                      2161
                                                                                               GOTO 2180
                                                                                      2170 A(I,J)=SQR((I-.5)^2-(J-1)^2)
2171 A(I,J)=A(I,J)-SQR((I-.5)^2-J^2)
2180 NEXT J: NEXT I
1531
1532
                                                                                      2180
1550
                                                                                               OPEN AF$+".ALP" FOR OUTPUT AS #1
1560
                                                                                      2220
                                                                                      2230
2240
1565
                                                                                               PRINT #1, N
                                                                                               PRINT #1, TH
1566
                                                                                               FOR I=1 TO N : FOR J=1 TO 15
1570
                                                                                      2250
1575
                                                                                      2260
                                                                                               PRINT #1, A(I,J): NEXT J: NEXT I
1590
                                                                                      2270
                                                                                               RETURN
1600
                                                                                      2290
1605
                                                                                      2300
                                                                                                    α-行列の逆行列の計算
         DATA "
1630
                                                                                      2310
1640
1650
         DATA
                                                                                      2320 *CALC.B
         DATA "何かキーを押して下さい。" '
K$=INKEY$: IF K$="" THEN GOTO 1660
                                                                                      2330 FOR I=1 TO N: FOR J=1 TO N
2335 Y(I,J)=A(I,J): NEXT J: NEXT I
1660
1670
         WIDTH 80,25
                                                                                      2340
                                                                                             M=N: GOSUB *IYI
1680
                                                                                      2350
                                                                                               VAA=VA: GOSUB *INV
        RETURN
                                                                                              FOR I=1 TO N : FOR J=1 TO 15
PRINT #1, B(I,J): NEXT J: NEXT I
CLOSE #1
1700
                                                                                      2380
1710
              a-行列の計算のための条件設定
                                                                                      2390
1720
                                                                                      2400
1730 *INIT
                                                                                      2410
                                                                                               GOSUB *MUL
1740
                                                                                      2440
                                                                                              RETURN
         CLS 3
1750
         OPEN "ALPHA.DSK" FOR INPUT AS #1
                                                                                      2460
1760
         INPUT #1, NA
                                                                                      2470
                                                                                                    ディスク情報ファイルの更新
        INPUT #1, NA
FOR I=1 TO NA
INPUT #1, AMF$(I),AMN(I),AMTH(I)
NEXT I: CLOSE #1
PRINT "ファイル名 n t / h"
FOR I=1 TO NA
AMF$(I)=LEFI$(AMF$(I)+" ",8]
1770
                                                                                      2480
1780
                                                                                      2490 *TERMINATE
                                                                                      2500 NA=NA+1
2510 OPEN "ALPHA.DAI" FOR OUTPUT AS #1 '
2510 PRINT #1, NA 'セーブされているα-行列の数
1790
1800
                                                                                              PRINT #1, NA
FOR I=1 TO NA
                                                                                      2520
2530
1810
                                                      ".8)
1820
        PRINT AMF$(I);
PRINT USING "######"; AMN(I);
PRINT USING "#######";AMTH(I)
NEXT I: PRINT
                                                                                               PRINT #1, AMF$(I)
PRINT #1, AMN(I)
                                                                                      2540
1830
                                                                                                                                  ファイル名
                                                                                      2550
2560
                                                                                                                                ' N
1840
                                                                                                                                ' T/H
1850
                                                                                               PRINT #1, AMTH(I)
1860
                                                                                      2570
                                                                                               NEXT I: CLOSE #1
         A$="度数分布の最大数(n) "
1870
                                                                                      2580
                                                                                               RETURN
1880
         PRINT A$;: INPUT N
                                                                                      2600
         AMN(l+1)=N
A$="切片の厚さ(t)/度数"
A$=A$+"分布の間隔(h) "
1890
                                                                                      2610
                                                                                                    行列の乗算 (A×B→C)
1900
                                                                                      2620
1905
                                                                                      2630 *MUL
         PRINT A$;: INPUT TH
1910
                                                                                      2640 FOR I=1 TO N: FOR J=1 TO N
        AMTH(I+1)=TH
A$="新しいα行列のファイル名 "
PRINT A$:: INPUT AF$
AMF$(I+1)=AF$
1920
                                                                                      2645 C(I,J)=0: NEXT J: NEXT I
1930
                                                                                      2650
                                                                                               FOR I=1 TO N
1940
                                                                                             FOR J=1 TO N
                                                                                      2660
                                                                                      2670 FOR K=1 TO N
1950
        AFF$=LEFT$(RIGHT$(AF$,4),1)
IF AFF$="." THEN ELSE 1970
AF$=LEFT$(AF$,LEN(AF$)-4)
AF$=LEFT$(AF$+" ".8)
                                                                                               C(I,J)=C(I,J)+A(I,K)*B(K,J)
NEXT K: NEXT J: NEXT I
1960
                                                                                      2680
1965
                                                                                      2690
                                                                                               RETURN
1966
                                                                                      2720
1970
                                                                                      2740
                                                                                      2750
                                                                                                    行列の値の計算 ( | Y | → VA)
1980
         AX=0
1990
         FOR I=1 TO NA
                                                                                      2760
         IF AMF$(I)=AF$ THEN AX=1
2000
                                                                                      2770 *IYI
                                                                                      2780
2010
         NEXT I
                                                                                               VA=1
                                                                                      2790 IF M=1 THEN VA=Y(1,1): GOTO 2850
2800 IF M=2 THEN ELSE 2820
         IF AX=1 THEN ELSE 2050
2020
2030
         PRINT "ファイル名が重複しています。"
                                                                                               VA=VA*(Y(1,1)*Y(2,2)-Y(1,2)*Y(2,1))
GOTO 2850
         GOTO 1940
2040
                                                                                      2810
         RETURN
                                                                                      2815
2050
                                                                                               GOSUB *VALP
2070
                                                                                      2820
                                                                                               VA=VA*VAP
2080
              α-行列の計算
```

```
2840 M=M-1: GOTO 2800
2850 RETURN
2900 *VALP
2910 IK=1
2920
       IF IK=M+1 THEN ELSE 2930
2925
2930
       VAP=0: VA=0: RETURN 2850
IF Y(1,IK)=0 THEN IK=IK+1: GOTO 2920
IF IK=1 THEN 2960
2940
2950
       FOR I=1 TO M: SWAP Y(I,1),Y(I,IK)
2955
       NEXT I
2960
       FOR I=2 TO M
       FOR J=2 TO M
Y(I,J)=Y(I,J)-Y(I,1)*Y(1,J)/Y(1,1)
NEXT J
2970
2980
2990
3000
       NEXT I
3010
        VAP=Y(1,1)
       IF INT(IK/2)*2=IK THEN VAP=-VAP
FOR I=1 TO M-1: FOR J=1 TO M-1
3020
3030
        Y(I,J)=Y(I+1,J+1): NEXT J: NEXT I
3040
3050
       RÈTÚRN
3070
3080
            逆行列の計算 (INV(A) → B)
3090
3100 *INV-
      *INV-
FOR IA=1 TO N
FOR JA=1 TO N
GOSUB *SMALL
M=N-1: GOSUB *IYI
B(JA,IA)=VA*(-1)^(IA+JA)/VAA
NEXT JA: NEXT IA
3110
3130
3140
3150
3160
3170
3190
       RETURN
3210
3220
3230
            余因子行列の計算
3240 *SMALL
       FOR II=1 TO N
IF II=IA THEN 3330
3250
3260
3270
       FOR JJ=1 TO N
       IF JJ=JA THEN 3320
IF II<IA THEN IK=II ELSE IK=II-1
3280
3290
3300
        IF JJ<JA THEN JK=JJ ELSE JK=JJ-1
3310
       Y(IK,JK)=A(II,JJ)
NEXT JJ
NEXT II
3320
3330
3340
       RETURN
1000
          切片の厚さを考慮した電顕的ステレオロジー
(Part 3: データファイルの作成)
1010
1020
1040
1050
          SAVE "STEREO3.BAS"
1060
            初期化
1070
1080
                                    ' 倍精度実数型変数の定義
' テキスト画面初期化
       DEFDBL A-G,P-Z
CONSOLE 0,24,0,1
1090
1100
                                   ・デモスト国国が利に
・グラフィック画面初期化
・グラフィック領域設定
・16色モード設定
・表示色10定義
        SCREEN 3,0,0,1
1110
       VIEW (0,0)-(639,399)
COLOR 7,0,0,7,2
COLOR=(1,&HFFF)
1130
1140
1160
                                    表示色2の定義
       COLOR=(2,&HAC2)
1161
       COLOR=(3,&H800)
WIDTH 80,25
                                      表示色3の定義
25行モード設定
1162
1163
                                      行列型変数の定義
1200
       DIM G(30), NTC$(20)
       CLS 3
                                    ・画面クリア
1210
1220
            メインプログラム
1230
1240
                                    ' プログラムの説明
' データ作成
       GOSUB *NOTICE GOSUB *M.DATA
1260
1270
1271
       RUN "STEREO1.BAS"
1340
1350
            プログラムの解説表示
1360
1370 *NOTICE
1380 CLS 3
```

```
WIDTH 80,20
LINE (67, 7)-(573,308),2,BF
LINE (70,10)-(570,305),3,BF
LINE (67,47)-(573,49),2,BF
FOR I=1 TO 16: READ NTC$(I)
LOCATE 10,I: PRINT NTC$(I): NEXT I
K$=INKEY$: IF K$="" THEN GOTO 1410
DATA "データファイル作成プログラム"
DATA " [STEREO3] NOV. 9, 1990"
DATA " このプログラムは
            WIDTH 80,20
1382
1383
1384
1390
1400
1410
1420
1425
1430
           DAIA " "
DAIA " このプログラムは、電頭的ステレ"
DAIA "オロジーのための球形粒子の直径の"
DAIA "分布データ(実測データ)を、計算"
DAIA "に用いることのできる形式のデータ"
DAIA "フィイルにするプログラムのデータ"
1440
1445
1450
1455
1460
           DAIA "ノアイルにするノロンフムにす。
DAIA "必要とされるデータは、(1)度"
DAIA "数分布のクラス数、(2)切片の厚"
DAIA "さ、(3)度数分布のランク幅、各"
DAIA "クラスの度数です。"
1470
1475
1480
1485
            DATA "データファイルの作成が終了する"
DATA "と、自動的にメインプログラムに復"
DATA "帰します。"
1490
1495
1500
1501
            DATA
            DATA "何かキーを押して下さい。
WIDTH 80,25
1507
1508
1510
            RETURN
1520
                  実測データファイルの作成とセーブ
1540
1550
1560 *M.DATA
           CLS 3
FILES "*.DAT": PRINT
PRINT "新しいデータファイル名を";
PRINT "入力して下さい。
1561
1570
1571
1572
            INPUT FD$
1580
            PRINT "度数分布のランクの数を入";
PRINT "力して下さい。 "」
1581
 1582
           INPUT ND
PRINT "切片の厚さ (nm) を入力";
PRINT "して下さい。
1583
1590
1591
           INPUT TD
PRINT "直径の度数分布のクラス幅";
PRINT "(nm)を入力して下さい。";
1592
1593
1594
1595
            INPUT HD
1600
            PRINT: PRINT " 直径(µm)
            FOR I=1 TO ND
PRINT USING "###.#";(I-1)*HD;
PRINT " ~";
 1610
1620
1625
           PRINT " ~";
PRINT USING "###.#";|*HD;
PRINT " ";
INPUT " ",G(I): NEXT I
PRINT: INPUT "OK <Y/N>";Q$
IF Q$="" OR Q$="Y" THEN ELSE 1600
OPEN FD$+".DAT" FOR OUTPUT AS #1
PRINT #1, ND
PRINT #1, TD/1000
PRINT #1, HD/1000
FOR I=1 TO ND: PRINT #1, G(I)
1630
1635
1640
1641
1642
2000
2001
2002
2003
           FOR I=1 TO ND: PRINT #1, G(I)
NEXT I: CLOSE #1
2005
2006
2100 RETURN
```

計算機: NEC PC-9801 シリーズ

MS-DOS N88BASIC Ver. 6.0